

エンカウンター（ENCOUNTER）

第 5 号（前半）

平成 14 年 9 月 19 日

小西芳之助「主の御名を呼ぶ」より（6）

真理

内村鑑三先生いわく、「吾人は、真理はただ考えただけでは分からぬ。実行してみてもわかる」と。

それで、ロマ書 10 章 13 節の「主の御名を呼び求めるものは、すべて救われる」の真理も、ただ考えただけでは分からぬ。主の名を称えて分かる。

（昭和 51 年 11 月 7 日）

「ナザレ人イエス・キリストの名によって歩け」

「ナザレ人(びと)イエス・キリストの名によって歩きなさい」(使徒行伝3章6節後半)。この意味は、イエスの名を称えつつあなたの義務を尽くしなさいと言う意味である。イエス・キリストは、われらに義務を尽くす力も、御名を称える力も下さる。

我らは何と幸いではないか、日々、ナザレ人イエスの名によって歩いているとは。

(昭和52年2月10日)

米国宣教師ミス・ローラ・モークからの手紙

小西芳之助 様

テモテ前書 2 章 1 5 節

この本は、全ての人が生きるために、死ぬるために、永遠の生命に入るために、必要なすべての真理をもっている。神の真理は完全であるが、我らはそれを受けるために、勉強せねばならぬ。また、それを受けるために、心を開かねばならぬ。特に、すべての伝道者にとって、
‘本の本’と言われるこの聖書の勉強は重要である。私は祈る。あなたが聖書に関する本よりも、聖書そのものを勉強せられんことを。神が直接あなたを教え給わんことを。神自身があなたの最良の教師です。
神があなたを祝福給わんことを。

1950年9月13日

ローラ モークより

(昭和53年1月)

再びデヴィッドソンの言葉

デヴィッドソンいわく、「立派な平凡な生涯は、すべての行為の中でもっとも偉大なことである」と。

私は、これを説明していわく、「称名しつつ、復活の希望をもって生きる平凡な生涯は、最も偉大なる行為である」と。

私は、復活の希望をもって、称名しつつ、平凡なる生涯を送ることを切に希望する。それは、その生涯がすべての人に可能だから。

(昭和53年2月)